

# あしたもみんながまっている!

令和3年 11月22日 NO. 5

## 放課後サポート開始!

10月20日、コロナの影響で開催できなかった『鬼っ子算数教室』（放課後サポート）が行われました。1学期から5,6年生を対象として地域の先生の協力を得ながら算数の学習を進めていく予定でしたが、緊急事態宣言が出て、学校に関係者以外がなかなか来校することができないため、2学期からの実施となりました。

参加した5,6年生はCST(Community school Support Teacher⇒コミュニティ・スクール サポート ティーチャー)の指導を受けながら久しぶりに一緒に問題に取り組んでいました。



参加児童は用意された問題をどんどんこなし、○つけをしてもらったり、わからない問題には手を挙げてCSTの先生方に教えてもらったり、時には先生方とおしゃべりをして楽しいお話をしたりと短い時間ではありましたが、意欲的に学習に取り組むことができました。

コロナの再流行による第6波の緊急事態宣言が出なければ11月からあと5回準備されています。楽しく勉強するとともに、基礎・基本の定着に活かしてくれたと思います。

### ＝富岸地区連合町内会 津波避難＝



いつもは富岸町内会の皆さんを中心に学校の津波避難にご協力いただいておりますが、今回は地域住民の立場で亀田霊園まで避難してみました。駐車場の上の霊園、さらに上のお寺のところまで避難する状況も地域の方々と考えながらお話しして歩きました。秋のさわやかな季節を感じながら、緊急事態の子どもたち、そして地域の皆さんの安全を守ることを考えることができました。

# キウシト湿原訪問

11月4日 学校の近隣にある『キウシト湿原』に3年生が訪問してきました。1学期にも訪問する予定でしたがコロナのためにオンライン授業となり、行くことができませんでした。オンラインでスタッフからの話や画像を見て、期待がいっぱいになり、【やっと！やっと!!やっと!!】訪問することができました。3年生は長靴をはきながら、リュックにはいっぱいの期待を込めて出かけました。



湿原では、スタッフがグループごとに『ミッション』を書いた指令書が準備され、グループごとに地図を見ながら各ミッションをクリアしていくという形でウォークラリーを行いました。

3年生はグループで相談しながら、地図を見ながら頭を並べて楽しく取り組むことができました。



しっかりと地図を見ながら  
ミッションを確かめます。

ガマの穂を握ると綿毛の種が爆発  
したように飛び出しました。

揺れる大地では長い棒が土の中  
にズボズボと入っていきました。



キウシト湿原って広っ！  
(展望台に上がりました)

泥だんご爆弾💣 えい！  
(中には種を入れてます)

壁の向こうには  
何が見える？

キウシト湿原のスタッフの皆さんのおかげでとても有意義な体験をすることができました。こんな街中でも豊かな自然があり、地域素材を生かした、体験的な学習を展開することができました。

コミュニティ・スクール事業を通じて、地域の人、もの、場所を使って豊かな教育活動が展開されています。次はどんな人と出会い、何を学び、どんな学習をすることができるか楽しみですね。